



森ボラ 通信

第88号 2009年9月20日発行
NPO法人北海道森林ボランティア協会
URL <http://www.geocities.jp/hokkaidoforest/>
札幌市中央区南2条西2丁目金市館ビル8F
Tel:241-8155 : Fax:241-8308
E-mail : hshinrinv2002@nifty.com

トピックス



2009年度北海道応援基金の
支援を受けています。

◆ 活動報告 8月25日(火)幌南の森で子供たちと巣箱掛け・遊歩道整備 参加者9名・小学6年生95名・PTA3名・ゲストガイド5名

森ボラ協会で作製した巣箱50個の内、約半数の24個が8月25日の「幌南の森巣箱掛け活動」で遊歩道沿いに設置されました。

6年生95名は、学校でグループ毎に思い思いの図柄・キャッチフレーズをデザインした巣箱を持寄り、PTAとその関係者の手により「幌南の森」遊歩道を中心に巣箱掛けが実施され、森ボラ協会も一緒にお手伝いをしました。

当日は、5・6年生の活動テーマ「幌南の森を育てよう」の活動計画に基づき6年生全員が参加、自然環境と人・生き物のつながりの野外学習が実施された。

活動に先立ち、森ボラ協会の高野さんから藻岩山の小動物・小鳥のお話し、森と動物たちの共存・役割等のお話と、巣箱の入口の大きさや外敵である蛇対策としての巣箱の掛け方・設置する樹種などが説明された。

午後からは、7月に引続き、森ボラ協会による「遊歩道の整備・草刈」が実施され、より安全な遊歩道の確保・支援となった。これらの遊歩道は、3・4年生の「幌南の森」活動にも活かされ、楽しい野外での活動が出来る事を願っています。

後日、子供達からお礼・文集が届きました。

事務所に保管しておりますので機会を見て読んで下さい。(記、事務局)



◆ 9月7日 札幌工科専門学校 24名 会員16名 澄川環境林

テーマ；森林施業を通じ森と人の共生を体験し、森林への深い理解と興味を深める。

一年生担当：高野と会員5名で指導した。

樹名板作製及び設置

予めミズナラ・イタヤカエデ・ドロノキ・ハンノキ・ホウノキ・シラカンバ・カラマツ・シナノキの特徴を調べる。

AM:カンナ掛け・脚取り付け・樹名を記入。

PM:散策しながら設置



二年生担当：酒井と会員5名で指導した。

AM:3箇所のホダ場でホダ木の天地返しと揚水ポンプで灌水をした。伏せこみは鳥居伏せも練習した。

PM:薪割り機と斧で薪割りの練習をした。

昼は湯澤さんのキノコ汁となり来年度は、キノコ採集調査だけで別途この森に来たいとの事です。

歓迎しましょう。（記、酒井）



◆ 澄川でアライグマの罠かけ

澄川の沢にアライグマがいることは作業参加各位がご承知のとおりです。

特定外来生物に指定されて駆除の対象になっている動物ですが、農作物ばかりでなく、在来の生態系を乱していることも事実です。特に澄川ではホタルの成育に欠かせないカワニナが食べられている可能性があること、それに一部で生息が確認されたというニホンザリガニも絶滅させられる恐れがあるので、捕獲業務を実施している(財)北海道森林整備公社にお願いして、罠をかけてみることにしました。

この時期のアライグマは農地の方に移動して、農作物を荒らしているとかで、澄川を留守にしていることが懸念されました。結果もそのようで、罠かけを2回試みましたが、空振りにおわりました。

農作物の収穫がおわり雪がふりだした頃に再度試みることにしたいと思います。（記、高野）



※「食べ物を洗ってから食べる」という習性から、アライグマと言う和名が付けられた」という説が一般化しており、実際に飼育下ではそのような行動が見られる。過去の研究では野生のアライグマは食べ物を水で洗ってから食べるような行動は一切しないと言われる。

北米が原産で、魚、小鳥のヒナや卵、小型哺乳類、果実、農作物、人家の残飯に至るまで幅広い雑食性。北海道においても、野生化し、道央部を中心に繁殖し、急速に全道に分布を拡大しており、農業等被害の増大や生態系への影響が報告されるほか、アライグマ回虫等による人の健康被害も懸念されている。洗熊、浣熊、*Procyon lotor* は、哺乳綱食肉目アライグマ科アライグマ属に分類される哺乳類(【参考文献】フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』)。

手もみのしぐさは、一説によると、皮膚から毒を分泌するカエルやトカゲを手もみして、刺激を与え、毒を吐き出させて洗い流し、捕食するためとも言われている。(記、事務局)

■ 今月の幹事会

出席者：市山・荻田・酒井・佐野・杉本・高野・西野・山中・棟方・和田・矢澤

確認事項

① 支笏湖国有林植樹祭活動計画

9月30日(水) 「CGCの森」看板建立準備・植樹祭準備を実施。(支笏湖畔で宿泊対応)

- 「道新ぶんぶんの森」植樹祭用植苗(トドマツ750本)の仮植え・マーキング作業の実施(4名対応)。

10月1日(木) CGCの森植樹祭(10月1日)9:30・針葉樹(トドマツ1,200本)の植樹を実施。

10月3日(土) 「道新ぶんぶんの森」植樹祭指導。トドマツ750本植樹実施。

10月6・7日(火・水) 「CGCの森」準備日(地拵の進捗状況次第で実施)。

10月9・10日(金・土) 「CGCの森」地拵・針葉樹1,500本植樹。

10月13・14日(火・水) 「CGCの森」地拵・広葉樹1,200本植樹・検収(14日)。

いずれも、雨天決行とします。多数の参加をお願いします。

「CGCみどりとこころの基金」活動では支笏湖畔での宿泊が多くなっています。支笏湖国有林を知る絶好の機会です。紅葉の時期とも重なります、ぜひ参加をお待ちしています。

② 幌南小学校から「巣箱掛け」のお礼文集が届いています。

8月25日の活動には㈱ニトリ北海道応援事務局から柿崎さんが視察・取材に訪れました。

③ リンゴ園は葉摘み作業が遅れ気味です。作業月次計画に関係なく、土・日・祭日でも応援をお願いします。9月末まで3~4名/日で1週間程度の作業量です。短時間でも時間のある方は応援をお願いします。

■ お知らせ

◆ 道民森づくりネットワークの集い2009

10月24日(土)

10:00~15:00(集合9:00)

今年も「道民森づくりネットワークの集い2009」が赤れんが庁舎前庭及び2階会議室を会場に、主催・北海道、共催・北海道森林管理局により開催されます。

赤れんが前庭いっぱいに「森のテント村」が出展、森づくり活動や発表、森を楽しむ体験普及の場として繰り広げられます。森ボラも昨年同様の展示並びに薪割り機を使った薪割り実体験を行います。(事務局:(社)北海道森と緑の会)

お手伝いご協力をお願いします。(防寒服装でご参加ください。(記、事務局))



活動履歴

活動日	行 事	参加人数	活動内容
9月16日(水)	支笏湖	13名	CGCの森地拵
9月15日(火)	支笏湖	15名	CGCの森地拵(宿泊)
9月14日(月)	幹事会	11名	9月度定例
9月12日(土)	澄川	13名	看板作製・アライグマ罠設置
9月10日(木)	りんご園	4名	摘葉・収穫
9月9日(水)	りんご園	6名	摘葉・収穫
9月7日(月)	澄川	16名	札幌工科専門学校実習指導・看板作製
9月5日(土)	アイケンの森	9名	薪作り
9月4日(金)	りんご園	4名	摘葉・収穫
9月3日(木)	りんご園	3名	摘葉・収穫
8月29日(土)	りんご園	7名	摘葉
8月28日(金)	りんご園	3名	摘葉
8月26日(木)	澄川	10名	木工・看板作製
8月25日(火)	幌南の森	9名	幌南小学校支援
8月24日(月)	アイケンの森	10名	薪作り・看板作製
8月21日(金)	支笏湖	18名	CGCの森地拵
8月20日(木)	支笏湖	20名	CGCの森地拵(宿泊)
8月17日(月)	支笏湖	6名	CGCの森植樹前調査・準備

※9月1日～2日の支笏湖活動は中止。

雨天中止等で事業が遅れています。会員の参加をお願いいたします。

ひとこま

◆ ドーレ君を使ったパネル教材で森林を楽しく学習する。

森ボラ代表幹事の酒井さんがデザインした教材をパネル化して、子供たちの「森の学習教材」に役立っている。

小学校5年生・6年生向けに「木は何を食べて成長する??」とか、「菌根菌は悪いやつ・良いやつ」、「20mもの高い木の上までどうして水を揚げる」と言ったクイズ形式のパネルで、答えは、ドーレ君が指差すスマイルちゃんの下に表示される仕組み。

鳥や小動物の写真もパネル化され学習材料になっている。幌南の森の中や、雨天で野外活動が中止になった時に教室でも森林の学習が出来るようにとパネル化された。

パネルはA2版の大型で、離れた場所でも十分見えるサイズになっている。

今後もパネルの内容を充実し、更により多くの教材を準備して、子供達と森林の中での自然学習を進めていきたいと考えています。(記、事務局)

